

「栃木県庁子育て応援・女性活躍推進行動計画～県庁燦燦プラン～」の策定について (R5. 11一部改定)

さんさん

「栃木県庁子育て応援行動計画（第1～3期）」H17年度～

- 仕事との両立を支援する環境の整備
(子育てハンドブック・育休体験談の周知、育児参加プログラムの活用)
- 仕事と家庭を両立させる働き方の実現 (超勤縮減、休暇取得促進)
【男性職員の育休取得率：目標13%→実績13.8%】

これまで
一体的に推進

「栃木県庁女性活躍推進行動計画（第1期）」H28年度～

- 県庁の魅力発信 【女性受験者：目標40%→実績37.6%】
- 継続就業及び仕事と家庭の両立 【男性職員の育休取得率（再掲）】
- 超勤縮減、年休取得促進 【年休取得率：目標40%→実績27.8%】
- 女性職員の配置・育成・登用 (キャリアアップ研修、所属長向け研修)
【課長級以上：目標15%→実績8.9% 課長補佐級：目標25%→実績25.1%】

仕事と子育ての両立に係る職員アンケート (中学生までの子どもを養育する職員)

- ◆各種支援制度：知っている 85.5%
- ◆職場の雰囲気：良い 71.9%
- ◆両立の課題 : ①周囲への負担増 70.9% ②退庁困難 60.5%
- ◆充実してほしい取組 : ①柔軟な勤務 35.6% ②テレワーク 33.1% ③超勤縮減 28.9%
- ◆男性職員が育休取得できなかった理由 : ①周囲への配慮 32.8% ②業務多忙 32.3%

女性職員の活躍に係る職員アンケート (女性職員)

- ◆県庁は活躍できる職場か : そう思う 72.4%
- ◆管理職登用を望まない理由 : ①能力不足 40.2% ②家庭との両立困難 39.6% ③職務経験不足 30.5%
- ◆現状の課題 : ①育児等で職務経験に制約 57.4% ②両立困難な勤務環境 56.3%
- ◆充実してほしい取組 : ①柔軟な勤務 42.3% ②超勤縮減 33.3% ③適正評価 32.4%

栃木県庁子育て応援・女性活躍推進行動計画～県庁燦燦プラン～
 さんさん
 計画期間：令和3（2021）年度から令和7（2025）年度まで（5年間）

《地域の子育て応援のための取組》

《ワーク・ライフ・バランス実現のための取組》

《女性職員活躍推進のための取組》

○働き方（勤務環境）の改善

①職員に対する取組
・職員が親子で参加できる福利厚生事業の実施
・「家庭の日」の呼びかけ

②県民に対する取組
・子どもを連れて来庁者が利用しやすい環境の整備
・「施設公開デー」など子どもが様々な体験ができる企画の実施

○仕事と家庭の両立

①働き方改革の推進
・「働き方改革プロジェクト」の推進 (BPRの視点による業務見直し、RPA適用業務の拡大等による業務の省力化・効率化、労働時間管理の徹底)
・効率的な働き方への適切な人事評価の反映
・所属長マネジメントチェック

②年次休暇の取得促進
・計画的な取得促進

①ライフスタイルに応じた柔軟な働き方
・フレックスタイム制、時差出勤等の好活用事例の周知
・テレワークの推進

②制度を利用しやすい環境の整備
・制度の周知と積極的な利用促進
・男性職員の育児・介護等への参加促進
・不妊治療を受けやすい職場環境の醸成

①女性職員のキャリア形成の支援と積極的な登用
・年代に応じた能力開発、多様な職務を経験できるような配置
・キャリア意識の向上のための研修、先輩職員との意見交換の場の設定

②女性受験者の拡大
・インターンシップ、動画等を通じた県庁の魅力発信

職員誰もが生き生きと活躍できる環境づくり

数値目標 (主なもの)	項目	基準値 (R1年度)	目標値 (R7年度)※
	年次休暇の取得率	27.8%	40%
	男性職員の育児休業取得率	13.8%	100%

項目	基準値 (R2. 4. 1)	目標値 (R8. 4. 1)
管理的地位（課長級以上）にある職員に占める女性職員の割合	9.4%	16%
課長補佐級にある職員に占める女性職員の割合	27.0%	30%

※男性職員の育児休業取得率は令和6年度及び令和7年度を目標年度とする。